

■フューチャースクール推進事業 実施計画

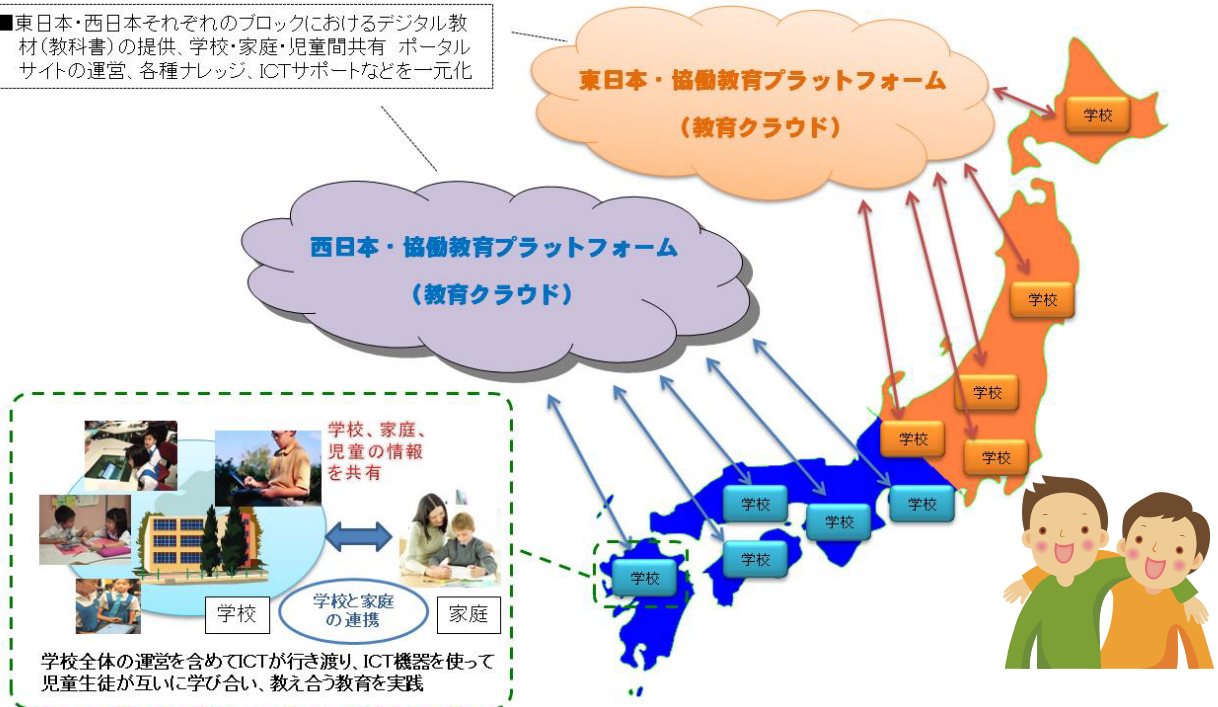
ICTを使った「協働教育」を推進するため、ICT機器を使ったネットワーク環境を構築し、学校現場における情報通信技術面を中心とした課題を抽出・分析するための実証研究を行う。

調査研究の概要

全国2ブロック10校*の公立小学校を対象に、協働教育プラットフォーム(教育クラウド)を核としたICT環境の構築により、デジタル教材(教科書)、ポータルサイト、ICTサポート等を一体的に提供するとともに、タブレットPC(全児童1人1台)やインタラクティブ・ホワイト・ボード(全普通教室1台)等のICT機器を用いた授業を実践し、「協働教育」の実現に必要な技術的条件やその効果等を検証する。調査研究の結果については、ガイドライン(手引書)としてとりまとめ、フューチャースクールの全国展開を計画的に推進。

※ 過疎・離島地域の公立小学校を対象とする場合には、複数校を一のプロジェクトとして実施することを可能とする。

■東日本・西日本それぞれのブロックにおけるデジタル教材(教科書)の提供、学校・家庭・児童間共有ポータルサイトの運営、各種ナレッジ、ICTサポートなどを一元化



- ICT環境の構築
 - ①学校にタブレットPC、インタラクティブ・ホワイト・ボード等ICT環境を構築
 - ②校内無線LANの整備
 - ③家庭との連携のためのICT環境構築
 - ④協働教育プラットフォームの構築
- 実証研究事項
 - ①ICT環境の構築に関する調査
 - ・構築に際しての課題の抽出・分析
 - ・利活用についての課題の抽出・分析
 - ・導入・運用に係るコスト・体制等分析
 - ②ICT協働教育の実証
 - ・ICT利活用方策の分析
 - ・協働教育プラットフォームの分析
 - ③実証結果を踏まえたICT利活用推進方策の検討



ガイドライン(手引書)の作成

本調査研究は、民間企業2社との請負契約により、児童数や校舎の形状、地理的条件等を踏まえて請負業者が選定した公立小学校10校(2ブロック×5校)により実施。